

## 平成26年4月からの公立保育園の保育体制について（要望）

日頃より、保育園をはじめとする保育行政や子育て施策について御尽力を頂きありがとうございます。

さて、毎年4月に保育園では新入園児を迎えるとともに、保育体制も変わりますが、保育体制につきましては、昨年度のような職員の欠員状態のまま新年度を迎えることなく万全を期して頂きますよう、改めてお願いをいたします。

既に御理解の通り、昨年4月1日時点においては、公立保育園5園全体で保育士の欠員が13名（うち、正規職員の欠員が5名）ありました。5月1日に欠員は3名となるまで補充が行われ（正規職員は全5名の補充）、残りの3名もその後補充されましたが、その間、現場の保育士や保育課職員の方を含め関係者の方にはご尽力頂いたものの、わずか1か月の間に担任が変わるクラスが生じるなど、ただでさえ父母・子どもたちが新しい環境で不安も大きい中、大変落ち着かない園生活となりました。

一昨年前の平成23年度は年度当初にけやき保育園で正規保育士が1人欠員となったままほぼ1年が経ち、その間、クラス担当が何度も変更となり、子どもは落ち着かず、親からの相談も行い難くなるなど、少なからぬ影響がありました。他にも、近年の小金井市においては、保育職員の欠員問題は日常的に生じており、正規職員以外の保育士に関しては、募集をかけても適当な応募者が集まらず、園の職員自ら、知人はもとより、我々父母に対しても、適当な人材がいなか日々探されている状況です。

また、保育士の確保は小金井市だけではなく、待機児童の問題とも絡んで社会的な問題となっています。ご理解の通り、首都圏では、昨年12月4日に東京都を含む4知事5市長からなる首都圏首脳会議より厚生労働大臣及び内閣府特命担当大臣（少子化対策担当）宛に「更なる保育士確保策の推進について」と題して「保育士の処遇改善の継続」、「離職防止による保育士確保のための強化策」、「安定的な財源の確保」の3点を申し入れています。また、近隣自治体では、人材バンクを設置して保育士の確保に努めているところもあります。

この保育士体制の問題につきましては、昨年5月の市（子ども家庭部）と五園連との定例懇談会の場でも取り上げたほか、五園連では公立保育園に通う全世帯の父母を対象としたアンケート結果で「保育士体制問題」が「待機児童対策」「病児保育の確保」に続いて第3位となったことをうけ、毎年8月に市に対して行っている意見・要望書の中で「(前略) 今回の問題は一時的なものではなく、中長期的な保育士採用のあり方等、抜本的な保育士体制の問題と認識をしています。このような問題が再び起こらないよう、体制面の強化・課題の解決を強くお願い致します」との要望を行いました。これに対して、市からは「(前略) 今後、保護者の皆様に不安を抱かれることの無いような保育園の体制確保について努力してまいります。」との回答を頂いています。

新年度まであと3か月を切りましたが、上記ご回答の通り、4月の体制については、我々が不安を抱くこと無く新年度を迎えられるよう、万全の体制確保を行っていただきたく、改めてお願いを致します。

加えて、4月の保育体制問題に絡んで我々が懸念をしている点があります。それは、職員の欠員等による保育体制の混乱が結果的に運営形態の見直しの議論に与える影響についてです。

保育業務にかかわらず、職員体制の問題は運営形態の見直しの議論と不可分の問題となっています。例えば、市では昨年9月に実施された小学校の給食調理業務の民間委託を急ぐ理由として、職員の欠員から市直営の体制を維持できなくなったことを保護者説明会等で説明されています。また、近隣市でも保育園の民間委託を行う理由の一因としてとして、職員の欠員や非正規職員の増加に伴って、保育体制の維持を続けることが困難になった点が挙げられています。更には、昨年12月の議会では、「(第3次行財政改革大綱で) 将来的に民間委託ないし公共的団体等に委託するとうたっていながら保育士の資格として雇っていることで矛盾は無いか」との主旨の発言も出ています。

現在市の方では、平成22年に第3次行財政改革大綱で保育業務の民間等への委託の方針を示し、昨年7月の「保育園業務の総合的な見直し」の文書の中でも委託を想定したスケジュール案を示されています。一方で、昨年11月に市と我々父母の間で公立保育園運営協議会がスタートしました。運営協議会では、民間等への委託については、市としての決定事項ではないにもかかわらず、我々父母を含め一部の方には既に決定しているかのような誤解を与えている点は憂慮

をしていることを指摘し、今後の協議は委託を前提とせず、あらゆる可能性について検討を行うこととなっています。この後、運営協議会では、現時点における保育園の評価や父母が求める保育ニーズを検討するにあたり、運営体制や保育士体制の検討も行うものと理解しておりますが、検討を進める以前の問題として、保育現場が疲弊・混乱をしてしまえば、協議の前提が崩れてしまうことにもなりかねません。

市に置かれましては、4月の保育体制については、あくまでも現時点において必要な保育体制を確保頂き、運営協議会の議論に影響を与えることの無いよう、ご対応をお願い致します。

平成 26 年 1 月 22 日

小金井市長 稲葉孝彦 殿

小金井市公立保育園父母の会(通称:五園連)

くりのみ保育園父母の会会長 鈴木 圭介  
鈴木 圭介

けやき保育園父母の会会長 塩原 史子  
塩原 史子

さくら保育園父母の会会長 松本 千代  
松本 千代

わかたけ保育園父母の会会長 岩野 秀夫  
岩野 秀夫

小金井保育園父母の会会長 池本 歩美 (代表)

池本 歩美